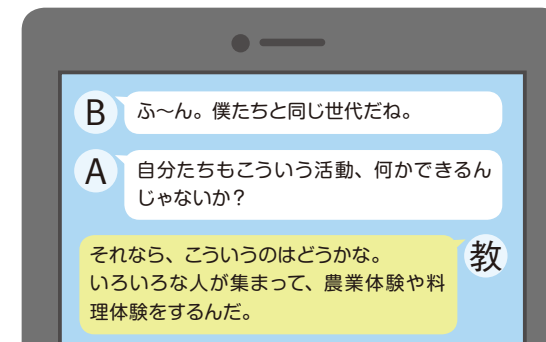
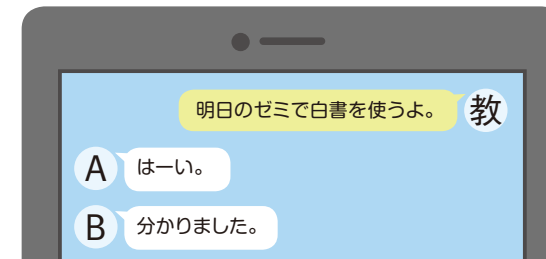


News 1 白書ってなんだろう

白書とはどういうものなのか知らない人が多いのではないのでしょうか。
今回は、大学教授と男子学生2人の
LINEのやりとりを通じて、
白書の一部をのぞいてみましょう。
(設定) 大学教授とゼミ生2人(A、B)のLINEでのやりとり



食育白書

農業と食を通じた居場所づくり



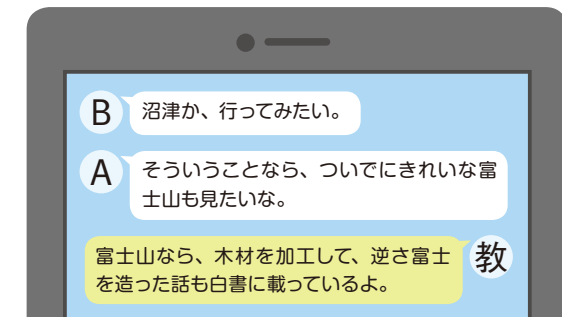
島根県安来市の眞知子農園は、幅広い世代と一緒に農作業をして食卓を囲む「畑食堂」を開いています。畑に集まるのは、小学生や引きこもりの若者、高齢者など、さまざまな人たち。草むしりや野菜の収穫に汗を流した後は、採れた野菜で料理を作ってランチタイム。食事中も、農作業や料理の感想などの会話が花が咲きます。子どもたちの食育の場であるとともに、悩みを抱えた子どもや高齢者の居場所としての役割も果たし、世代を超えて支え合う地域づくりに貢献しています。

食料・農業・農村白書

阿蘇の農業復興に地元学生の力



熊本県にキャンパスがある東海大学農学部は、学生が主体的に企画して阿蘇地域で農作業を手伝う「阿蘇援農コミュニティプロジェクト」を行っています。地元農業者の負担を軽減し、農業の魅力と苦勞を理解するために開始。平成28年4月の熊本地震で一時的に中断しましたが、被災した農業者を手助けしようと約130人の学生が7月に活動を再開。農業者からも感謝の言葉が寄せられました。この活動は、農林水産省の「食と農林漁業大学生アワード2017」で農林水産大臣賞を受賞しました。

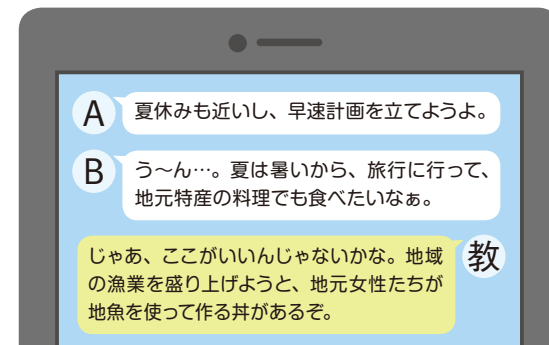


森林・林業白書

地元木材と最新技術で「逆さ富士」



静岡県富士宮市の「静岡県富士山世界遺産センター」は、「逆さ富士」を模した木格子の外装が施設のシンボルです。木格子には県産ヒノキ材を、加工には、株式会社シェルター（山形県）が導入した最新の三次元加工機を使用。木材を「削り出す」ことで、自由に複雑なデザインに加工できます。こうした最新技術も含め、木材を工場であらかじめ加工する「プレカット加工」の住宅分野以外への活用が、木材利用の新たな展開として期待されています。



水産白書

地元の漁業を盛り上げる女性パワー



養殖マアジの生産出荷量日本一を誇る静岡県沼津市にある内浦漁業協同組合の直営店「いけすや」は、地元女性12人による「チームIKS」が切り盛りしています。人気の「二食感活あじ」は、締めたてで新鮮な活あじと、前日に締めたうまみの濃厚な熟成活あじの二つを食べ比べできる丼。ほかにも、メニューには地元の漁業者が獲った魚が並びます。また、魚のさばき方を学べる「いけすや体験教室」を行うなど、魚食普及にも貢献しています。

白書を読むならココ

- 農林水産省 Web サイト



- 公立図書館にも読めることがあります。



白書とは、政府の年次報告書を指します。農林水産省では、この頁で紹介した4つの白書を作成。図表や統計データを使って分かりやすく解説したり、注目の取り組みをコラムで紹介したりなど、農林水産業を身近に感じてもらうような工夫がされています。

ニュースで耳にする言葉や気になるキーワードなども取り上げられていて、まさに農林水産業の「今」が分かる白書。農林水産省Webサイトや図書館でご覧になれますので、白書を通じて、農林水産業と皆さんの暮らしのつながりを感じてみてください。

白書とは？



読者の声

読者の皆さまから寄せられた
「aff(あふ)」5月号へのご意見・ご感想を紹介します。

多くの漁法で魚を獲っているのは、我が国ならではののではないのでしょうか。今まではただ魚を食べていましたが、今後はどんな風に獲られたのかを思い浮かべながら口にしようになると思います。

(50代・男性)

「ニッポンの漁り」の中で、未利用魚もアイデア次第で有効活用できることが紹介されていました。どんなお魚にも価値を見い出す、日本人の発想がすごいですね。

(60代以上・女性)

「Love♡魚」の特集は読みやすかったので、家族にも勧めました。魚を多く食べるとは、生活習慣病の予防にもなるので、もっと食べようと思っています。

(50代・女性)

「日本一の産地」の、迫力のある水揚げの写真に惹きつけられました！銚子漁港でセリの見学ができたり、新鮮な魚を食べられることを知らなかったのが、是非遊びに行きたいです。

(20代・男性)

「ドローンでカワウを撃退」を読みました。すごいですね！農作物も害獣の被害で大変だと聞きます。いろんな場面ですます活用がありそう。

(50代・女性)

母が作ってくれた卵焼き入りのお弁当が大好きでした。豪華でも色鮮やかでもなかったけれど、毎日ふたを開けるのがとても楽しみだったことを思い出しました。

(30代・女性)

感想をお聞かせください

今後もよりよい広報誌とするため、読者アンケートにご協力ください。農林水産省Webサイト「aff(あふ)」のページから回答できます。



○編集・発行 農林水産省大臣官房広報評価課広報室
〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1
TEL.03-3502-8111(代表) FAX.03-3502-8766

○編集協力 株式会社文化工房
〒106-0032 港区六本木5-10-31 矢口ビル4F
TEL.03-5770-7114(代表) FAX.03-5770-7132
編集/中村麻由美 小尾悠梨子 糸瀬早紀
藤田紫系 小竹結女 伊藤高
アートディレクション/釜内由紀江
デザイン/石川幸彦 清水桂

News 3

田んぼがキャンバスに

葉の色が異なる古代米などの複数の稲を植え、広大な田んぼに絵を描く「田んぼアート」。愛知県名古屋市港区の南陽地区では、子どもたちに農業に興味を持ってもらうため、その制作を通じた、楽しい稲作体験を企画しています。

7月5日には、同じように活動している全国の約30団体が集まる「全国田んぼアートサミットin名古屋」を開催。当日は、各団体の事例発表や作品のパネル展示などが行われ、団体同士が交流を深めます。

全国各地で取り組まれている田んぼアート。皆さんのお近くにもあるかもしれませんね。



緑色の稲をベースに黄色や白の葉をつける品種を使って絵を描く



南陽地区の田んぼアートの取り組みについてはこちら



全国各地の田んぼアートについてはこちら

クイズの答え

広角レンズ

広角レンズとは、広い範囲(広い角度)を撮影できるレンズのことをいいます。風景写真を撮る際には、壮大な自然をより広く写真におさめることができるので、臨場感のある1枚が撮れます。

また、手前から奥まで広くピントが合いやすいという特徴もあります。風景のような「見えるものがすべて被写体」という写真にはおすすめです。

レンズを替えるだけでファインダー越しの風景が大きく変わるので、写真を撮るのがますます楽しくなりますね。



通常のレンズ



広角レンズ

News 2 今年も「こども霞が関見学デー」開催

省庁の特色を生かした豊富な体験プログラム

毎年夏休みに行われる恒例の「こども霞が関見学デー」が、今年も8月1日・2日に行われます。

府省庁の見学や業務の紹介を通じて、子どもたちに広く社会を知る体験をしてもらおうと、文部科学省をはじめとした府省庁が連携して実施しています。楽しみながら施策への理解を深められるよう、各府省庁がそれぞれの特色を生かした体験プログラムを用意。夏休みの自由研究にも役立つと好評です。農林水産省も、農産物に関するクイズや展示、ものづくりや実験ができる体験コーナーなど、楽しく学べるたくさんのイベントを企画しています。

当日は参加者に「霞が関こども旅券」(パスポート)を配布。これを持つていれば、霞が関を自由に歩き回ってプログラムに参加することができま。事前予約が必要なイベント、当日受付が必要なイベントもあるので、事前にWebサイトなどで確認してください。



オリジナル木製はがき作りに挑戦



さかなクンによるお魚セミナーに子どもたちは興味津々



大臣の椅子はふかふかで気持ちいいね



実際に石臼を使って抹茶作り

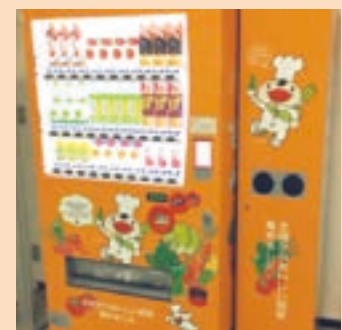
※写真はすべて昨年度のものです。

「平成30年度こども霞が関見学デー」

日時：8月1日(水)、2日(木) 10時～16時

受付場所：農林水産省本館正面玄関、
本館南玄関、北別館玄関
(受付時間は10時～15時45分)

※イベントにより、事前予約や当日受付登録が必要です。詳細は右のQRコードよりご確認ください。



国産食材を使った飲料自販機が登場

国産食材を使用したオリジナルの飲料自動販売機。農林水産省北別館1階にありますので、訪れた際には是非購入してみてください。